



越前の手透き和紙の創作和紙と黒江漆の三二屏風

「月見」日本には昔から月見（つきみ）と言って、満月を眺めて楽しむ習慣があります。日本ならではの、手漉き和紙の繊細な表現から映し出される陰影と、四季を愛でる美意識と感性から生み出される、日本の伝統文化を感じてください。